

●第69回 QCサークル活動発表会(令和5年9月28日)

当院では年2回、QCサークル活動発表を行っており、患者さんの満足度向上や業務効率改善などを旨とし、取り組んでいます。今回は2チームが発表を行いました。

- ◇最優秀賞
- クリップチーム(総務課)
- テーマ 「納品・請求書内容問い合わせ時の効率改善」



新入職員紹介

5階病棟 看護師

うえやま あやこ  
上山 綾子  
(令和5年5月8日入職)



総務課 事務員

みやもと まお  
宮本 麻央  
(令和5年8月1日入職)



4階病棟 看護師

しいざき みな  
椎崎 珠奈  
(令和5年8月16日入職)



患者さんやご家族さんに安心、安全な看護を提供できるように日々努力していきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

周りの方々に支えていただきながら頑張っています。一日でも早く業務に慣れるように努力していきますので、よろしくお願ひ致します。

患者さんやご家族さんに安心してもらえるような看護を提供できるようチームの一員として頑張ります。よろしくお願ひ致します。



医療法人 千徳会

桜ヶ丘病院

院長 成川 暢彦

〒649-0304 和歌山県有田市箕島904  
TEL : 0737(83)0078 FAX : 0737(83)0079  
E-mail : sakura\_2007@cherry-hill.or.jp  
http://www.cherry-hill.or.jp

●地域連携室  
TEL 0737(83)0829



診療科目等

- 内科(呼吸器・循環器・消化器・糖尿病・脂質代謝)
- 腎臓内科(人工透析)・脳神経内科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科
- 婦人科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・各種健診・人間ドック
- 入院許可ベッド数 99床
- 一般病床:49床(特殊疾患病棟入院科1)
- 医療療養病床:50床(療養病棟入院基本科1)
- 腎センターベッド数37床(最大受入患者数114名)(夜間透析実施中)

医療法人千徳会

- 本部 〒649-0304 和歌山県有田市箕島1265  
電話 0737-83-0881 FAX 0737-83-0079
- さくら訪問看護ステーション 〒649-0305 和歌山県有田市港町29-1  
電話 0737-83-0077 FAX 0737-83-0079



千徳会 理念と基本方針

千徳会理念

1. 信頼される医療
2. 安心・安全の医療
3. 慈愛あふれる医療

基本方針

1. 思いやり(相手の立場になり考える)
2. 感受性を豊に(小さなことにも感動を)
3. 創造性(常にチャレンジ)
4. 合理性(道理に適い能率的に)
5. 自己研鑽(常に学習を)

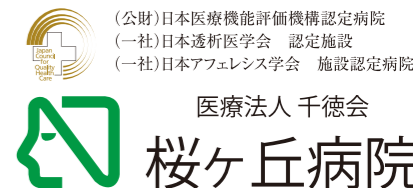
経営理念

「職場は、職員共同の生活の源泉であり、人間完成の道場である」  
「我々は最大の病院になることを望まず、最良の病院になることを望む」

社会福祉法人守叡会

- 特別養護老人ホーム田鶴苑(介護老人福祉施設・短期入所事業)  
〒649-0316 和歌山県有田市宮崎町841-1 電話0737-82-6644 FAX0737-82-6609
- デイサービスセンター田鶴苑(通所介護事業)
- 訪問介護田鶴苑(訪問介護事業)
- 有田市在宅介護支援センター(居宅介護支援事業)
- 特別養護老人ホーム愛宕苑(介護老人福祉施設・短期入所事業)  
〒649-0305 和歌山県有田市港町9-1 電話 0737-82-0600 FAX 0737-82-0606
- デイサービスセンター愛宕苑(通所介護事業)
- ケアハウス愛宕苑(地域密着型特定施設入居者生活介護事業)
- グループホーム愛宕苑(認知症対応型共同生活介護事業)  
〒649-0305 和歌山県有田市港町29-1 電話 0737-23-7177 FAX 0737-83-5501
- 特別養護老人ホームありだ橋苑(介護老人福祉施設・短期入所事業)  
〒649-0314 和歌山県有田市野639-2 電話 0737-83-6255 FAX 0737-83-6260
- デイサービスセンターありだ橋苑(通所介護事業)
- 養護老人ホーム長寿荘(養護老人ホーム)  
〒649-0315 和歌山県有田市山地57 電話 0737-82-2946 FAX 0737-83-2640

# さくら通信



## 腎センターのご紹介

当センターは平成4年8月に開設し、現在、スタッフは日本透析医学会認定医の常勤医師が2名、非常勤医師2名、看護師8名、准看護師1名、臨床工学技士2名です。室内は明るく広々とした空間で、快適で安楽な透析治療を受けられるよう環境整備に努めています。シャント閉塞や狭窄などのシャントトラブルに対し常時対応できる体制を整え、腹膜透析の管理や、オンラインHDFからLDL吸着療法・GCAP等の総合的な透析医療への取り組みに邁進しています。



透析治療中は看護師によるフットケアや管理栄養士による栄養指導、理学療法士との協働による運動機能評価や透析中の運動指導など多職種と協力し、透析患者さんのQOL向上に努めています。さらに、当院専門外来との連携による合併症への対応も行っており、透析患者さんに安心・安全な医療を受けていただけるよう取り組んでいます。





## パーキンソン病について

和歌山県立医科大学 脳神経内科 助教 なかやま よしあき 中山 宜昭 医師

脳神経内科では認知症、頭痛、神経難病（パーキンソン病およびその類縁疾患、ALS、脊髄小脳変性症など）、てんかん、末梢神経障害、重症筋無力症、筋炎、筋ジストロフィー、髄膜炎・脳炎などの疾患を主に診療しています。特に、神経難病という「非常にまれな病気」というイメージがあるかと思いますが、代表疾患であるパーキンソン病は、65歳以上の方で100人に1人程度の有病率があるのではないかとされています。そのため認知症と同様に、今後の高齢者社会で患者数の大幅な増加が予想されています。

パーキンソン病とは、大脳の下にある中脳の黒質ドパミン神経細胞が減少して起こる脳の病気で振戦、動作緩慢、筋強剛、姿勢反射障害などが主な症状となります。50歳以上で起こることが多いと言われていますが、まれに40歳以下で起こる場合もあり、若年性パーキンソン病と呼ばれています。治療については薬物治療が主ですが、他の神経難病と異なり、適切な薬剤を使用すれば症状改善がはっきりと認められるケースが多いです。当院での外来は週2回ですが、和歌山県立医科大学脳神経内科と連携しており、大学での精査・治療が必要な場合は速やかに大学での受診につなげさせていただくことが可能です。またパーキンソン病の治療については医療費助成の申請を勧めており、なるべく軽い経済的負担でこれらのサービスを受けていただけるよう心掛けております。パーキンソン病を疑う患者さんがおられたり、お困りのことなどがございましたら、是非一度ご紹介いただけますと幸いです。



### ●第31回さくら喫茶～認知症(予防)カフェ～(令和5年8月26日)

当院では地域住民の方々に認知症について楽しく学んでいただくため、定期的にさくら喫茶を開催しています。今回は、恒例の認知症予防健康体操と、岡田和也院長補佐による「内視鏡検査について」の講演を行いました。講演では胃カメラの方法やピロリ菌などについてわかりやすく説明され、参加された方々は熱心に聞かれていました。



## 医療安全推進部の活動紹介

当院では医療事故を防止し、患者さんに安全な医療が提供できるよう、医療安全推進部が中心となって組織横断的に医療安全活動を行っています。メンバーは医師、看護師をはじめ薬剤師やリハビリスタッフ、事務員と多職種で構成されています。活動内容は主に院内において発生した医療事故に関する情報収集及び事例介入、医療安全に関する院内研修会の実施、医療安全通信の発行、月1回の院内ラウンドなどが挙げられます。

特に院内ラウンドではストッパーの確認や5S（整理・整頓・清掃・しつけ・清潔）などの環境面のチェック、マニュアルの確認を定期ラウンドでチェックしています。また、インシデントレポートの中でより危険性が高いと判断した事例については実際に委員が速やかに現場で介入を行い、多職種間でディスカッションし、原因分析や対策案を評価することで、医療安全の確保に努めています。

今後も患者さんが安心して医療を受けていただけるよう、さらに病院スタッフも安全に医療を提供できるよう努めていきたいと思っています。



### ●職員旅行(令和5年9月17日)

京都方面へ日帰りバスツアーでの職員旅行に、グループ総勢62名が参加しました。当日は快晴に恵まれ、大石酒造、湯ノ花温泉、嵐山、京都水族館を巡りました。4年ぶりの旅行で職員同士の親睦も深まり、楽しい1日となりました。

